

【様式】

令和5年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 三重県立明野高等学校 )

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		○農業、衣・食、福祉の専門高校として、それぞれの分野の専門的知識・技能の習得に取り組むとともに、地域との連携を推進し、地域産業にイノベーションを起こす。
(2)	育みたい 児童生徒像	○社会人としてのマナーを身につけるとともによりよく生きる力を自ら育むことのできる生徒。 ○主体的に行動し、自己実現を図っていくことができる生徒。 ○基礎学力の向上および資格取得に高い目標を掲げて取り組むことのできる生徒。 ○習得した専門知識や技能を生かし、自立した社会人として地域に貢献し、地域を支え、地域とともに生きていくことができる生徒。
	ありたい 教職員像	○目指す学校像や育みたい生徒像の実現に向け、主体的に課題発見、解決、改善に取り組む教職員。 ○生徒の実態に即して、学習内容の確実な定着を図るとともに、授業力の向上や授業改善に取り組むことのできる教職員。 ○生徒の自己肯定感を育むことのできる教職員。 ○安心、安全な学校生活の実現に取り組む教職員。 ○生徒、保護者および地域の信頼に応えることのできる教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈生徒〉 生徒意識調査の結果から生徒による学校評価の平均が令和2年度から微増を継続してきており、学校生活には概ね満足している。</p> <p>〈保護者〉 保護者アンケートの結果では「明野高校に入学させて良かった」「生き生きと学校生活を送っている」という回答がともに90%を超えており、学校への満足度は高い。生徒や保護者が望む進路希望実現に向けた的確な指導、助言が期待されている。</p> <p>〈地域〉 地域産業界等との連携事業、教育活動のさまざまな情報発信により生徒の日頃の取組に理解を示してくれている。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>〈家庭〉 生徒や学校のこまめな情報共有。</p> <p>〈中学校〉 卒業生の近況の情報共有。 本校が実施している教育活動の情報発信</p> <p>〈地域社会〉 専門高校の強みを活かした地域貢献、地域産業活性化への取組。</p>	<p>〈家庭〉 本校教育活動や生徒の自立に向けた指導への理解と協力。</p> <p>〈中学校〉 継続して効果的な指導に取り組めるよう、情報共有を密に図る。</p> <p>〈地域社会〉 キャリア教育を充実させるために生徒が活躍できる場の提供およびさまざまな取組での連携強化。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<p>「変化が激しく、速度が早い時代」「予測困難な時代」を生き抜くには、自身で考える力が重要である。決まったことはできるが、失敗を恐れることなく、新しいことに挑戦していく積極的な行動力が必要。</p> <p>コロナ禍において教育活動が様々な制限を受けたため、明野高校の強みである現場実習の経験が積めなかった分野があり、例年の生徒と比較してスキルの不足が見られる傾向がある。</p> <p>今後のDX社会を生き抜いていくためには、デジタル教育の経験や知識がより必要になってくる。</p>	

(4) 現状と課題	教育活動	<p>生徒意識調査では、多くの生徒が授業には真面目に取り組んでいると評価しており、授業は理解できているという評価も微増の結果となっている。この結果を教員側が受け止め、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善に取り組む必要がある。</p> <p>保護者アンケートにおいて生徒の進路について丁寧に指導してくれるという質問に対して保護者の満足度は、取り組みを理解いただいていないのか低い傾向が見られる。</p> <p>このことを受け止め、キャリア教育の推進にさらに取り組むとともに、保護者や生徒との情報共有をより一層密にして、希望が実現される進路指導に取り組む必要がある。</p>
	学校運営等	<p>学年主任を担任兼務として分掌の人数の増員を図った。このことで、分掌が担任団をサポートする体制作りが整った。担任と分掌で構成する学年団を生徒育成の単位として組織的に生徒のサポートや育成を図っていく必要がある。</p> <p>4つの学科がそれぞれの教育目標実現に向けて特色のある教育実践を図ることができるよう取り組んでいくことが必要である。</p>

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>生徒がよりわかりやすい授業を実践するとともに、主体的に探究活動に取り組む能力の育成に努める。生徒同士が協働する活動を促進し、豊かな社会性・人間性を育む。</p>
学校運営等	<p>「変化の激しい時代」、「予測困難な時代」を豊かに生きるために必要な力を育み、持続可能な社会の創り手を育成するため、我々教職員集団も互いに協力し合うとともに、協働的な活動に取り組んだり経験・職種に応じた研修を受講したりして豊かな社会性や人間性を身につける。</p>

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>(1) 教職員の授業力向上および授業改善に取り組み、生徒の授業満足度・授業理解度の向上を図るとともに、進路実現に向けた基礎学力向上と資格取得に取り組む。</p> <p>(2) 生徒による授業評価を実施する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒による授業評価を実施する。(12月)</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒意識調査で「授業は理解できている」平均 6.5P 以上</li> <li>基礎力診断テスト(業者テスト)の指標『C3 以上』入学時比 10%増、『D3 以下』入学時比 50%減</li> <li>福祉科介護福祉コース介護福祉士国家試験受験者全員合格</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	

<p>キャリア教育の充実</p>	<p>(1)1年生に対して、進路ガイダンス等を実施して、自分の進路希望実現に向けた進路選択ができるようコース選択や科目選択の指導・助言を行う。</p> <p>(2)2年生に対して、外部講師を招いてのキャリアプランやインターンシップ等を通して自分自身の適正について理解するとともに進路決定に向けて主体的に取り組んでいく力を育む。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路ガイダンスの実施各学年年間2回以上</li> <li>・キャリアプラン(外部講師による講義)実施年間10回以上</li> <li>・インターンシップの実施(2年生で1回)</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <p>生徒および保護者の進路満足度それぞれの調査で8.5P以上</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	
<p>生き生きとした学校生活</p>	<p>(1)基本的な生活習慣の確立および社会人としてのマナーを身につける。</p> <p>(2)生徒や教職員がいつも活気にあふれ、活力のある学校生活を送ることが出来るよう環境を整備する。</p> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりの発行毎月1回以上</li> <li>・教育相談だよりの発行年間2回以上</li> <li>・生徒会によるあいさつ運動の実施年間10回以上</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒意識調査で「あいさつや場に応じた言葉遣いができている」と答えた生徒の割合9.3P以上</li> <li>・生徒意識調査で「校則の意味を理解し、しっかり守っている」と答えた生徒の割合9.3P以上</li> <li>・「明野高校の生徒はよくあいさつができる」と思う保護者の割合95%以上</li> <li>・「明野高校の生徒は服装がしっかりしている」と思う保護者の割合98%以上</li> </ul>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	
<p><b>改善課題</b></p>			
<p>(年度末に記載)</p>			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など  
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	<p>(1) 教職員の授業力向上に向けた取組の実施 【活動指標】教職員による校内授業研修会の年3回実施</p> <p>(2) 人権研修会および特別支援教育研修会の実施 【活動指標】人権研修会、特別支援教育研修会の年3回実施</p> <p>(3) コンプライアンス研修会の実施 【活動指標】学校信頼向上委員会の開催(随時)、コンプライアンス研修会年間2回実施、不祥事案の情報共有(随時)</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒意識調査における「授業内容に工夫があり、興味関心を引き出す授業が多い」8.3P以上</li> <li>・「明野高校に入学させて良かった」と思う保護者の割合 98%以上</li> <li>・「子どもは、生き生きと学校生活を送っている」と思う保護者の割合 98%以上</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
情報提供による信頼の構築	<p>(1) 学校ホームページによる情報提供</p> <p>(2) 明野高校公式インスタグラムによる情報提供 【活動指標】学校行事ごとのホームページおよび公式インスタグラムの更新</p> <p>(3) 高校生活入門講座の充実、授業公開、文化祭の一般公開 【活動指標】学校を見学できる機会年間5日以上</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページアクセス数前年度比 110%以上</li> <li>・公式インスタグラムのフォロワー800以上</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	
地域の企業および他校種等との連携	<p>(1) 地域の事業所および他校種、住民との連携による地域の活性化と明るい話題の提供 【活動指標】本校生徒と外部企業との交流連携 30件以上 本校生徒と他校種との交流連携 10件以上</p> <p>【成果指標】新聞等報道される件数年間のべ 50件以上</p>	(年度末および適宜記載)	
働きやすい職場環境づくり	<p>(1) 総勤務時間の縮減に向け、年次有給休暇等を取得しやすい環境をつくる。</p> <p>(2) 学校全体の環境問題に取り組む。</p> <p>(3) 高騰する光熱水費節減に取り組む。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設定した日の定時に退校できた教職員の割合 80%以上</li> <li>・予定通り休養日を実施できた部活動の割合 95%以上</li> <li>・放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 90%以上</li> <li>・学校全体のゴミ減量に向けた意識の醸成</li> </ul>	(年度末および適宜記載)	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節電、節水、エネルギー節約の意識醸成</li> <li>【成果指標】</li> <li>・時間外在校等時間が年 360 時間を超える教職員数 0 人</li> <li>・時間外在校等時間が月 45 時間を超える教職員の延べ人数 0 人</li> <li>・1人当たりの月平均時間外在校時間 30 時間以下</li> <li>・1人当たりの年間休暇取得日数 10 日以上</li> <li>・資源ゴミと廃棄されるゴミの分別の徹底による一般可燃物の量年間 15,000 kg 以下</li> <li>・電気・水道使用量の節減、前年比 95%</li> </ul>		
改善課題			
(年度末に記載)			

## 5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

## 6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)